

みずほCustomer Desk Report 2019/06/13 号 (As of 2019/06/12)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.56
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	108.49	1.1330	122.91	1.2723	0.6961
SYD-NY High	108.57	1.1343	123.08	1.2759	0.6963
SYD-NY Low	108.22	1.1283	122.43	1.2682	0.6925
NY 5:00 PM	108.51	1.1287	122.49	1.2690	0.6929
NY DOW	26,004.83	▲ 43.68	日本2年債	-0.2000	▲ 1.00bp
NASDAQ	7,792.72	▲ 29.85	日本10年債	-0.1200	0.00bp
S&P	2,879.84	▲ 5.88	米国2年債	1.8817	▲ 4.70bp
日経平均	21,129.72	▲ 74.56	米国5年債	1.8733	▲ 4.14bp
TOPIX	1,554.22	▲ 7.10	米国10年債	2.1214	▲ 2.26bp
シカゴ日経先物	21,045	▲ 145	独10年債	-0.2375	▲ 0.40bp
ロンドンFT	7,367.62	▲ 30.83	英10年債	0.8670	1.00bp
DAX	12,115.68	▲ 40.13	豪10年債	1.4365	▲ 3.60bp
ハンセン指数	27,308.46	▲ 480.88	USDJPY 1M Vol	6.50	▲ 0.05%
上海総合	2,909.38	▲ 16.34	USDJPY 3M Vol	6.60	0.11%
NY金	1,336.80	5.60	USDJPY 6M Vol	6.83	0.03%
WTI	51.14	▲ 2.13	USDJPY 1M 25RR	-1.40	Yen Call Over
CRB指数	173.24	▲ 1.62	EURJPY 3M Vol	6.68	0.01%
ドルインデックス	97.00	0.31	EURJPY 6M Vol	7.09	▲ 0.04%

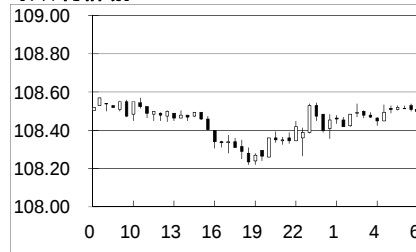
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月12日	09:30	豪 リストバグ消費者信頼感指数	6月 100.7	-
	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	5月 2.7%/0.6%	2.7%/0.6%
	17:15	欧 ドラギECB総裁 講演	「世界貿易は近年逆風に直面」	
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	5月 0.1%/1.8%	0.1%/1.9%

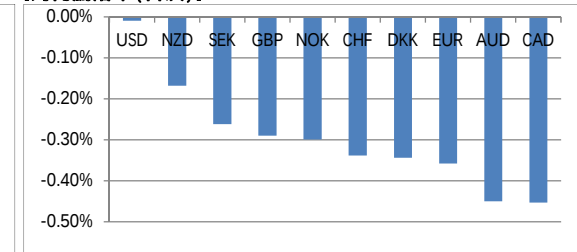
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月13日	10:30	豪 雇用者数変化	5月 16.0k	28.4k
	10:30	豪 失業率	5月 5.1%	5.2%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	5月 0.2%/1.4%	0.2%/1.4%
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	4月 -0.5%	-0.3%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 215k	218k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.80-109.00	1.1250-1.1350	122.30-123.50

【マーケットインプレッション】

12日のドル円は狭いレンジで推移する展開となった。米長期金利の低下基調が続き、ロンドン時間に安値108.22円をつける。NY時間に入り一旦108円半ばまで持ち返したが、発表された米5月CPIは市場予想を下回る結果となり、市場はドル売りで反応し再び108円台前半まで下落。しかし、その後ユーロ・ポンドに対するドル買いに支えられ、108.50円近辺まで水準を戻し、108.51レベルで取引を終えた。

本日のドル円はじり安の展開を予想。12日に発表された米5月CPIは市場予想を下回る前年比1.8%上昇となり、米利下げに根拠を与える結果となった。FOMC・G20という2大イベントを控え、大きな値動きは考えにくいものの、米中通商問題・米利下げ観測の高まりが意識される中、上値の重い推移となるだろう。

東京	東京時間のドル円は108.49レベルでオープン。仲値にかけて小幅に上昇する展開となり一時108.57まで上昇。中国5月CPI/PPI(前年比)の結果が発表されたものの、市場予想通りの結果となり反応は限定的。その後は目立った新規材料がない中で、108円台半ばでの動意に乏しい推移が続いたが、日経平均株価がそれまでの上昇幅を大きく削る展開となったことからドル円も一時108.31まで下落した後、108.34レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は108.34レベルでオープン。特段目新しい材料は見られなかったものの、金利低下基調が続く中、やや上値の重い展開。108.22-39の狭いレンジで推移し、108.35レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2728レベルでオープン。英首相有力候補ジョンソン前英外相が「合意なしのEU離脱を目指してはいない」とEU離脱への姿勢を軟化させると、一時1.2758まで上昇したが買いは続かず、1.2746レベルでNYに渡った。(ロンドン・ルアリ 00531 444 179 北原)
ニューヨーク	NY時間のドル円は108.35レベルでオープン。朝方は108.45まで上昇するが、その後発表された米5月消費者物価指数が前年比で市場予想を下回ったことから、ドル売りで反応し108.27をつける。しかし、一時2.10%台まで低下した米10年債利回りが2.14%台まで上昇する動きを眺め、ドル円は108.54まで反発。午後はユーロ・ポンドに対するドル買いにサポートされ、ドル円は108.50近辺で底堅く推移し、108.51レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.1321レベルでNYオープン。朝方は米経済指標が予想よりも弱い内容だったことから1.1341まで上昇するが、米金利が上昇する中、滞空時間は短く、1.1308まで反落。その後、「トランプ大統領がルド・ストリーム2(ロシア産ガスをバルト海経由で欧州に輸送するパイプライン)建設阻止のための制裁を検討」とのヘッドラインが伝わると、米国と同一プロジェクトを支持していたドイツの関係悪化懸念が広まり、ユーロ売りが強まったことから1.1283まで反落する。特段ユーロを買い戻す材料が見当たらない中、終盤は安値近辺で小動きとなり1.1287レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償で提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・森谷